

2019年

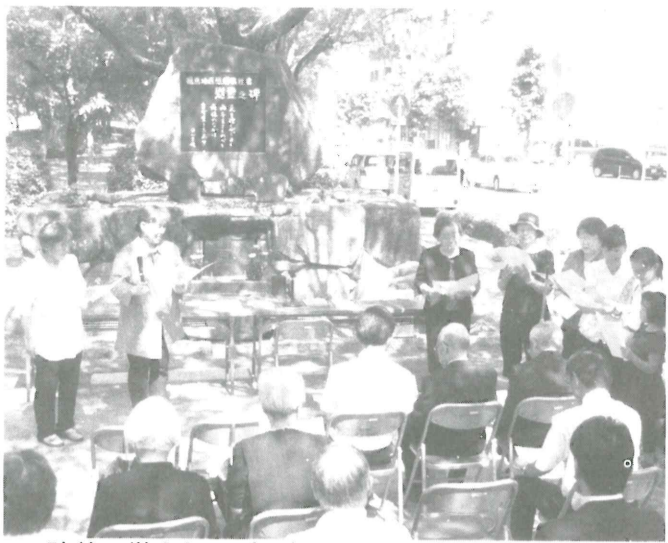
8月4日

第2538号

月3回刊
日曜日発行

発行所 広島民報社
〒730-0013 広島市中区八丁堀8-11/電話 (082) 228-4046
(昭和41年2月19日第三種郵便物認可)
1ヵ月 240円(送料123円)/1部 80円
郵便振替 01330-2-34778
© 広島民報社 2019年

広島民報



碑前で営まれた慰霊祭=7月27日、広島市西区

原水爆禁止2019世界大会 核禁条約に調印する日本を

原水爆禁止2019年世界大会が迫りました。核兵器廃絶、非核平和へと世界を動かす世界大会への期待が大きくなっています。オーストリアのゲオルゲビルヘルム・ガルドン、ライナー・ブラウの両氏も国際会議から参加します。また、初めてNATO加盟国スペインの左翼政党「ポデモス」の国議員の大会参加も決まりました。5月の日

被爆74周年の原爆の日 県内各地で追悼の式典

被爆74周年の8月6日の原爆の日が近づき、死没者を慰霊、追悼する式典が県内各地で開かれています。

広島市西区の福島地区原爆犠牲者慰霊之碑前では7月27日、第44回慰霊祭が営まれ、30人が参列。碑には「天を抱くがごとく両手をさしのべし死体のなかにまだ生きるあり」と深川宗俊氏の碑文が刻まれ、423人が合祀されています。安芸区の瀬野川地区原爆死没者追悼碑前では7月26日、第26回追悼式があり、新日本婦人の会広島県本部が毎年発行している被爆体験手記集『木の葉のように焼かれて』に掲載された被爆者の証言が朗読されました。



広島県入りした国民平和進行(東京—広島コース)の行進団=7月26日、福山市

韓国国際フォーラムでつなげた韓国の労働組合、女性団体、青年が多数参加します。

本政府は、唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約に背を向け続け、被爆者・国民を裏切っています。7月の参院選では、安倍9条改憲阻止、安保法制II戦争法廃止、沖縄の米軍新基地建設中止などを共通政策にかかげて32の一人区で野党統一候補が奮闘し、10人が勝利しました。3つの一人区では、「核兵器禁止条約の調印・批准を求め」ことが公約に掲げられました。

比例中国 大平よしのぶ 奮戦記



参議院選挙が終わりました。何より中国地方にとつての



参院選で健闘した高見選挙区候補(右)とともに宣伝する大平前衆院議員=7月22日、広島市

宝、仁比聡平さんの議席を失ってしまったことが本場に悔しくてなりません。私自身が直接ともに活動してきたこの6年間の奮闘ぶりを振り返っても、政権与党がもつとも恐ろしい議員の一人であり、絶対に欠かすことのできない存在であったと肌身に痛感してきました。

総選挙で議席奪還を

覚し、ただちに再スタートを踏み出していきます。まず全体の結果として、改憲勢力の「3分の2」を阻止したこと、1人区の10の選挙区で野党統一候補が勝利したこと、私たちの比例票は17年総選挙比で前進させたことなどを

地下水

原爆投下から75年を迎える来年、核兵器禁止条約の発効が見込まれ、人類の新しい歴史が始まるうとしてい

「核戦争の危険から女性と子どもの生命を守ります」の実現の展望が開けます。◆画家・岩崎ちひろは「わたくしたち婦人は、誰でもみじめな戦争に子どもや夫をさらしたくないと